

平成31年度使用 大分市中学校用教科用図書 調査研究報告書

種目（「特別の教科 道徳」）		
発行者番号	2	1 1
発行者名	東京書籍	学校図書
1 単元・題材の構成 ①単元や題材の構成が適切か ②単元・題材の取り上げ方が適切か ③学年の段階や生徒の能力等に応じた構成か ④各学年・教科の目標に応じた展開か ⑤生徒の考える道筋に合致した構成か ⑥学習事項の理解・定着への配慮があるか	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。オリエンテーション・本編（30 教材・35 時間扱い）、さらに付録（5 教材）を置き、補充・深化の役割が果たせるようにしている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③学年に応じた重点項目を設定している。1 年生で「橋の上のオオカミ」を掲載し、小学校道徳との関連を図っている。また、3 年生では、生命倫理や児童労働問題について考える教材、職業紹介ページを設けている。 ④道徳的な判断力、心情、実践意欲・態度を育てるために、「考えてみよう」という設問や「アクション」として体験的な学習（役割演技）ができるよう配慮されている。また、各教科等と関連する教材を多く取り入れ、関連する教科マークを示している。 ⑤各学年の「オリエンテーション」で、道徳の基本的な授業の流れを提示している。その中に、「話し合いの手引き」があり、司会者の働きなどわかりやすく示している。 ⑥ポートフォリオとして学期や学年で振り返ることができるように、各教材に「つぶやき」コーナーがある。巻末に自己評価用紙（学期ごと）がある。考えたり思ったりしたことを可視化できるシートが付属している。	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。35 教材で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③学年を追って発問内容や「心の扉」の記載内容を深化させている。道徳学習の基盤となる学級づくりのページを、各学年の冒頭に設けている。 ④巻末に保護者に向けての資料がある。 ⑤最初に道徳学習の流れを示している。また、各教材に「学びに向かうために」を設け、授業での扱いを示している。「心の扉」は、道徳的価値を深めたり、多面的・多角的なものの見方や考え方を促したりするページで、導入や終末で活用できる。 ⑥教材ごとの振り返りや、1 年間を通した振り返りを書き込むスペースがある。
2 内容の取扱い ①題材のまとめ方・重点の置き方が適切か ②学習意欲の喚起等への配慮があるか ③導入やまとめ方は適切か ④基礎的事項の取扱いは適切か ⑤学習活動の充実が図られているか ⑥資料・手引き等の活用への配慮があるか	①「いじめ問題」、「生命の尊さ」については、複数教材を組み合わせた構成とし、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。 ②導入段階で学習の方法を丁寧に説明している。また、キャラクターを要所に配置し、学習の流れを案内するとともに、興味・関心を引き出すよう工夫している。 ③各教材の導入にテーマや関連する漫画の一部を置き、興味関心を高めている。テーマに対応した設問を「考えてみよう」に置くことで、教材を一貫して扱えるよう工夫している。 ④各資料に学習指導要領の4 つの視点（マークで）と主題名が提示されている。 ⑤体験的な学習ができる「アクション」や、2 時間扱いの問題解決的な学習を配置している。また、ホワイトボードなどの授業支援ツールを載せ、話し合い活動や思考の質を高める工夫をしている。 ⑥教材に関連した資料ページ（Plus）や付録の補充教材を弾力的に活用できるようにしている。	①総則に示された 10 の内容項目については、複数教材を設置して重点化を図っている。また、いじめ防止や人間関係に係る 3 項目についても重点化している。 ②巻頭の「道徳の学習を始めよう」で学び方を提示している。また、各学年の最初の活動に「学級づくり」のページを配置し、楽しく前向きに学習に向かう基盤づくりを図っている。 ③各教材に、「考えよう」として導入となる発問、「見つめよう」としてまとめとなる発問が提示されている。 ④各資料に学習指導要領の4 つの視点（マークで）と内容項目、主題が提示されている。 ⑤発問の中に、「問題解決」、「自我関与」、「体験的な学習」の要素を取り入れた「意見交換」を提示し、多様な学習活動の実現を図っている。 ⑥「心の扉」を教材との相互補完として設置し、考えを深め広げる工夫をしている。また、学期ごとに学びの記録をまとめ、一度に振り返ることができるようにしている。
3 文章表現 ①学年段階に応じた文章であるか ②主体的な学習を進める表現の工夫があるか ③文字の大きさなどへの配慮があるか	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。固有名詞や常用漢字などに振り仮名を配している。 ②教材全体に自分の考えや話し合ったことを書き込む欄を多く配して授業全体の展開例を示している。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。ユニバーサルデザインフォントを使用している。	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。固有名詞や常用漢字などに振り仮名を配している。 ②全ての教材に「意見交換」を指示する発問を置いて、生徒が主体的に取り組めるようにしている。 ③行間にゆとりがあり文字も大きく読みやすい。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
4 挿絵・図表等 ①内容に応じた挿絵等が配置されているか ②印刷が鮮明か ③図版の大きさなどへの配慮があるか	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真を掲載している。独自のキャラクターも使われている。 ②印刷は鮮明である。目に優しい色を基調としている。 ③特に「感動・畏敬の念」を扱う教材については写真を大きく掲載している。	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。 ②印刷は鮮明である。カラーユニバーサルの観点から色使いに配慮がある。 ③特に「郷土愛」では、日本家屋の外観など、9 枚の写真を用いて匠の技を示している。
5 紙質・造本等	再生紙・植物油インキを使用。AB 版 176 頁（1 年）。あじろ綴じで、大きく紙面を開くことができる。各学年 1 冊（別冊なし）。巻末にホワイトボード用紙と考えたり思ったりしたことを可視化できるシートがあり、話し合い活動に活用できる。	環境に配慮した紙・植物油インキを使用。AB 版 224 頁（1 年）。無線綴じで開きやすい。各学年 1 冊（別冊なし）。
6 教科独自の特色や長所 ①生命の尊重、人格の尊重等を題材とした教材 ②体験活動を通して日常生活を振り返り考える教材 ③今日的な課題に関わる教材 ④学級や学校生活の課題について考える教材 ⑤先人等の多様な生き方から生きる勇氣や知恵などを感じる教材 ⑥生きることの魅力や意味の深さについて考えを深める教材	①「いじめ問題」の教材では、漫画や漫画風になっているものがある。「防災教育」では、登山や東日本大震災や海難事故などを扱っている。 ②グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」として配置している。 ③防犯カメラについての新聞記事やごみ箱の増加設置の投書に対する様々な考え方から、よりよい社会、住みよい社会について考える教材がある。 ④運動会の「大縄とび」の参加をめぐっての問題を通して話し合うことで、お互いの考えや思いを理解し合うという内容の教材がある。 ⑤落語家、和菓子職人、登山家など、多岐にわたって人物を取り上げている。 ⑥星野富弘（詩人）、田中正造（議員）、黒田博樹（野球選手）などの生き方を題材とした教材がある。	①臓器提供、脳死、骨髄バンク、薬物乱用などの様々な問題から命のつながりや大切さを考えることのできる教材がある。「防災教育」では、酒田大火、東日本大震災、濱口梧陵の功績などの教材がある。 ②教材の末尾に、「学びに向かうために」という学習の進め方の欄があり、それに役割演技を促す表記がある。 ③アルミ缶回収運動やカンボジアの民主主義を求める運動などの内容を通して、社会の一員として自分たちのできる社会貢献について考える教材が多い。 ④異性の友達とのかかわりやグループ化する仲間との人間関係を通して、お互いに認め合う大切さを学ぶ教材がある。 ⑤多くの先人を取り上げ、「日本のよさ」や「日本人としての心」を考える内容の教材がある。 ⑥大分市在住廣道純（車いすマラソン選手）の生き方を題材とした教材がある。
7 大分市の子どもの実態 ①情報モラル ②いじめ問題 ③考え、議論する資料の充実	①1 年：短文投稿サイトに悪口を書いた場合に、どのような状況になるかを考えさせる教材がある。 2 年：部員同士の SNS 上のやり取りの場面を示し、使用する態度や留意事項について考える教材がある。 3 年：歩きスマホによる事故事例などから、正しいスマホの使い方について考える教材、SNS に投稿した内容からいじめに発展したことを考える教材、SNS に投稿した写真や内容を誤解して受け取られたことを考える教材がある。 ②1 年：いじめを判断させる絵、いじめの傍観者でいいのか、解決するにはどうすればいいのかを考える教材、クラスの中で無視されている女子に対する主人公の複雑な気持ちを漫画で描いた教材、いじめをする人の気持ちを分析した教材がある。 2 年：傍観者やいじめる側に焦点を当て、いじめ問題を考える漫画風の教材がある。 3 年：いじめの被害者を支え、勇氣をもたせて解決に向かった様子を漫画で描いた教材がある。 ③どの学年にも役割演技、グループでの話し合い活動がある。	①1 年：漫画でブログの書き込みによる問題を示し、情報モラルについて考える教材がある。 2 年：ネット将棋の物語を通して、ネット上での責任ある言動について考える教材がある。 3 年：ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材、ホームページの情報を無断使用した主人公の行動を通して情報モラルを考える教材がある。 ②1 年：いじめた級友の卒業文集を読み、後悔の念をもつ主人公を描いた教材がある。 2 年：いじめの傍観者でいいのか、解決するにはどうすればいいのかを考える教材がある。 3 年：SNS の使用と自己保身から嘘情報を流し、いじめに発展した事例を漫画で扱う教材、いじめで被害生徒が自殺未遂を起こし、事情聴取を受けた主人公や加害生徒の事例を扱った教材がある。 ③どの教材も意見交換をする活動がある。
備考	1 年：付録「郷土のことを考える」に福沢諭吉の掲載あり	

平成 3 1 年度使用 大分市中学校用教科用図書 調査研究報告書

種目（「特別の教科 道徳」）		
発行者番号	1 7	3 8
発行者名	教育出版	光村図書出版
1 単元・題材の構成 ①単元や題材の構成が適切か ②単元・題材の取り上げ方が適切か ③学年の段階や生徒の能力等に応じた構成か ④各学年・教科の目標に応じた展開か ⑤生徒の考える道筋に合致した構成か ⑥学習事項の理解・定着への配慮があるか	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。本教材 30、補充教材 5 で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③1 年では A の視点を手厚く、学年が上がるにつれて B・C の視点に力点を置いている。また、生徒が無理なく学習できるよう短い教材、見て分かる教材を掲載し、学習内容を焦点化している。 ④みんなで「考え、議論する」ことに適した多種多様な教材を掲載している。「やってみよう」では、自分や友達の考えを書いたり、グループで話し合ったりするなど、言語活動の充実が図られている。 ⑤巻頭の「オリエンテーション」では、「何を学び、考えるか」を示している。各教材には、「学びの道しるべ」があり、「何を、どのように考え、話し合っていくのか」をわかりやすく示している。 ⑥巻末の「道徳の学びを記録しよう」では、学期ごとに自分自身の学びを振り返ることができる。学習を終えた実感を、「心のかがやき度」で表現できる。	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。本教材 34、補充教材 2 で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③年間を 4 つのシーズン（まとめり）に分け、シーズンごとにテーマを設けて学習できるよう配列されている。特に第 1 シーズン（4・5 月）においては、人間関係づくり、学級づくりが円滑に進められるように配慮されている。 ④学ぶテーマを知り、「考える観点」から主体的に考え話し合ったり、「見方を変えて」から多面的・多角的に考えたりすることができる。各学年の「学びの広場」に小学校の道徳の教材を収録し、中学生としての今の自分の考えを出し合わせることで、深い学びにつなげる意図がある。 ⑤各教材末には、1 ページの「学びのテーマ」があり、1 時間の授業をイメージしやすい。 ⑥「私の気づき」に、毎時間の考えや感じたことを書き留めることで、自己の変化や成長を自覚できる。生徒がシーズンごとに自己評価の記録を残す「学びの記録」が巻末にある。
2 内容の取扱い ①題材のまとめ方・重点の置き方が適切か ②学習意欲の喚起等への配慮があるか ③導入やまとめ方は適切か ④基礎的事項の取扱いは適切か ⑤学習活動の充実が図られているか ⑥資料・手引き等の活用への配慮があるか	①「いじめや差別」、「生命の尊さ」について考えを深められる教材を体系的に配置している。 ②冒頭で道徳の学び方を提示している。各資料では、主題を提示せず、導入の発問のみを提示することで、生徒の問題意識を大切にし、主体的な学習ができるよう工夫している。 ③各資料に導入の発問が提示されている。また、「学びの道しるべ」に教材のねらいにつながる問い、道徳的価値に関する問い、今後の行動への示唆など、3～5 つの設問が提示されている。 ④学習指導要領の 4 つの視点は、巻末にまとめて提示されている。 ⑤学びの手引きにいろいろな角度からの問いが提示され、学習活動が明確になっている。また、体験的な学習ができるスキルトレーニングの活動が多く取り入れられている。 ⑥巻末に各学年 4～5 つの補充資料があり、生徒の実態に応じて弾力的に活用できる。	①重点項目については、複数教材が示されており、「生命を大切に思う心」に重点を置いている。 ②巻頭に「どう学ぶのか」、巻末に「なぜ学ぶのか」を置き、生徒が学び方や学ぶ目的をつかんで授業に臨めるようにしている。また、漫画形式の教材や言語活動を重視した教材を多く配置している。 ③「学びのテーマ」に共通理解のための問い（導入）、道徳的価値に迫るための問い（展開）、生活に結び付けたり問題解決を図ったりするための問い（まとめ）が提示されている。 ④各資料に学習指導要領の 4 つの視点（マークで）と内容項目が提示されている。 ⑤問題解決学習に適切な教材を多く収録し、多様な学習活動ができるよう工夫している。 ⑥各学年 7 つのコラムがはさま込まれている。また、巻末には補充教材が掲載されており、生徒の実情に応じて弾力的に活用できるようになっている。
3 文章表現 ①学年段階に応じた文章であるか ②主体的な学習を進める表現の工夫があるか ③文字の大きさなどへの配慮があるか	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。常用漢字は全ての教材で初出箇所に、固有名詞には全ての箇所に振り仮名を配している。 ②何を学習するのかわかるように、内容項目ごとに導入（主題への誘い）を設けている。 ③行間にゆとりがあり文字も大きく読みやすい。行番号とは別に行を表す点が示されている。明朝体に改良を加えたものを使用している。1 年の前半部は、他の教材よりも大きい文字を使用している。	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。常用漢字は全ての教材に、固有名詞には全ての初出箇所に振り仮名を配している。 ②教材末に手引き「考える視点」が設けられており、生徒が「めあて」を持って学習できるようにしている。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。読みやすさに配慮した独自の明朝体を用いている。
4 挿絵・図表等 ①内容に応じた挿絵等が配置されているか ②印刷が鮮明か ③図版の大きさなどへの配慮があるか	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。 ②印刷は鮮明である。読みやすい色調である。 ③臨場感あふれる写真を多く取り入れている。	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。 ②印刷は鮮明である。カラーユニバーサルの観点から色使いに配慮がある。 ③「生命の尊さ」では、出産直後の新生児や母親の姿を写真 4 枚用いて表している。
5 紙質・造本等	再生紙・植物油インキを使用。B5 版 194 頁（1 年）。生徒が携帯しやすく扱いやすい。各学年 1 冊（別冊なし）。	環境に配慮した紙・植物油インキを使用。B5 版 226 頁（1 年）。生徒が手に持ちやすく扱いやすい。各学年 1 冊（別冊なし）。
6 教科独自の特色や長所 ①生命の尊重、人格の尊重等を題材とした教材 ②体験活動を通して日常生活を振り返り考える教材 ③今日的な課題に関わる教材 ④学級や学校生活の課題について考える教材 ⑤先人等の多様な生き方から生きる勇気や知恵などを感じる教材 ⑥生きることの魅力や意味の深さについて考えを深める教材	①ダウン症や生まれつきの病氣を持つ人々の手記から、人間の生きている幸せについて考える教材がある。「防災教育」では、地震や水害、阪神淡路大震災、集中豪雨の被災地での消防団員の活躍などから学ぶ教材がある。 ②「道徳的行為に関する体験的な学習」に適した教材には、「やってみよう」が設けられている。 ③生徒会選挙で代表を選ぶことや「食品ロス」の問題を通して、社会（集団）の一員として自分には何ができるか考える教材がある。 ④文化祭や合唱コンクールなどの学校行事を通して、幅広い人達との人間関係をどのように築くのか、その中から思いやりに気づく教材がある。 ⑤落語家、役者（脇役）、医者など、多岐にわたって人物を取り上げている。 ⑥イチロー（野球選手）、野村萬斎（狂言師）、スポーツ・文化両面の人の生き方を題材とした教材がある。	①1 枚のポスターから動物保護について考える教材がある。「防災教育」では、東日本大震災の陸上自衛官、避難生活、避難所での中学生の活動を描いた教材がある。 ②それぞれの良さや物事の決め方の学習の後に、エンカウンターの手法を用いグループによる活動を設定している。 ③ある新聞記事からネット依存の問題提起やインターネット上でのマナーなど様々な問題を通して、自分の考えや判断に責任をもつことについて考える教材が多く設定されている。 ④異性の親友とのかかわり、ライバル関係の友人などの様々なかかわりの中で自分らしくあるためにはどうあるべきか考える教材がある。 ⑤オリンピック選手、中国の思想家、教育者、陶芸家など、国内外多岐にわたって人物を取り上げている。 ⑥黒田博樹（野球選手）、池上彰（ジャーナリスト）、アンジェラアキ（歌手）の生き方を題材とした教材がある。
7 大分市の子どもの実態 ①情報モラル ②いじめ問題 ③考え、議論する資料の充実	①1 年：ネットに投稿した個人情報のやり取りを通し、ルールとマナーについて考える教材がある。 2 年：SNS 上のトラブルから、SNS の使い方や危険性を考える教材、スマホに振り回され、スマホの使い方や友達とのやり取りについて考える教材がある。 3 年：歩きスマホについて、東京消防庁等による調査結果を示し、正しい使い方を考える教材がある。 ②1 年：「いじり」と「いじめ」の違いについて文章や漫画を通して考える教材、いじめについて 2 つの物語の続きを考える教材がある。 2 年：傍観者やいじめる側に焦点を当て、いじめ問題を考える漫画風の教材、合唱コンクールの取組を通して、自分の言動や友達関係を見つめなおす教材がある。 3 年：病気による容貌によっていじめを受けた人の体験や考え方の変容を通して差別や偏見のない社会を考える教材、いじめた級友の卒業文集を読み、後悔の念をもつ主人公を描いた教材がある。 ③どの学年にも役割演技がある。（各学年 1～2 つ）	①1 年：ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材と SNS などへの書き込みについて考えるコラムがある。 2 年：ネット依存を防ぐための注意点について考える教材とスマホなどの利用について振り返るコラム、なくなったボールペンを巡る交流サイトに書き込まれた憶測によりトラブルに発展したことから情報モラルについて考える教材がある。 3 年：情報社会で起こる様々な問題について考えるコラムがある。 ②1 年：魚の世界のいじめとの共通点を考える教材といじめが生まれる場面に遭遇した時を考えるコラムがある。 2 年：「いじめ」と「いじり」について考えるコラム、カナダでのいじめ反対運動「ピンクシャツデー」を取り上げ、いじめと向き合う具体的な内容を示した教材がある。 3 年：いじめ防止に取り組んだ佐賀県の中学校の生徒会活動を取り上げたコラムがある。 ③教材の後にコラムが各学年 7 つずつある。「つなげよう」では、授業で学んだことを深めるための問いなどがある。
備考		3 年：「恩讐の彼方に」 菊池寛作掲載

平成 3 1 年度使用 大分市中学校用教科用図書 調査研究報告書

種目（「特別の教科 道徳」）		
発行者番号	1 1 6	2 2 4
発行者名	日本文教出版	学研教育みらい
1 単元・題材の構成 ①単元や題材の構成が適切か ②単元・題材の取り上げ方が適切か ③学年の段階や生徒の能力等に応じた構成か ④各学年・教科の目標に応じた展開か ⑤生徒の考える道筋に合致した構成か ⑥学習事項の理解・定着への配慮があるか	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。本教材 35 で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③カリキュラムマネジメントを取り入れ、学校における他の教育活動や日常生活の体験を生かして、道徳の授業が展開できるように構成されている。 ④各教材には、「考えてみよう」と「自分に＋1（プラスワン）」の2つの発問が設けられており、実践意欲と態度を育てようとしている。 ⑤巻頭に「道徳で学ぶこと」が配置されている。すべての教材に主題名を記載し、生徒が見通しを持って学習できる。問題解決的な学習では、「学習の進め方」を挿入し、学習の参考になるようにしている。 ⑥別冊「道徳ノート」は、全教材に対応したページを設けており、書くことで道徳の学びを積み重ね、生徒自らが成長を実感できる。友だちの意見を記入する欄もあり、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。本教材 35 で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、学年が進むに従って、内容の深まりや視野の広がり工夫がある。 ④教材本文の前に主題名を表示しないことにより、特定の価値観を押し付けることなく、生徒が自ら問題意識を持ち、主体的に学びを深めることができるよう配慮している。 ⑤巻頭で、「考えを深める4つのポイント」を示し、道徳の授業への向き合い方を提示している。道徳での学習を日常生活に生かし、豊かな心を育むことができるよう、「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」を中心に工夫がある。 ⑥巻頭に「マイプロフィール」、巻末に「心の四季」を設け、生徒自身が自らの成長を振り返り、課題や目標を見つけることができるように工夫されている。
2 内容の取扱い ①題材のまとめ方・重点の置き方が適切か ②学習意欲の喚起等への配慮があるか ③導入やまとめ方は適切か ④基礎的事項の取扱いは適切か ⑤学習活動の充実が図られているか ⑥資料・手引き等の活用への配慮があるか	①「いじめ問題」などの重要テーマは、複数教材を組み合わせた構成とし、多面的・多角的に考えられるよう工夫している。総則に沿って8の全学年重点項目を設定し、繰り返し学習できるよう配慮している。 ②巻頭のオリエンテーションで学び方を示すとともに、言語活動を重視した教材を多く配置して、主体的な学習を喚起している。 ③「考えてみよう」として教材のねらいに迫る発問、「自分に＋1」として学んだことを前向きに自分に生かすための発問が提示されており、まとめまでの流れが設定されている。 ④各資料に学習指導要領の4つの視点（マークで）と主題名が提示されている。 ⑤「問題解決的な学習」、「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材が多く設けられ、多様な学習活動ができるような工夫がある。 ⑥「プラットホーム」（内容を広げる）、「参考」（内容を理解する）が多く配置され、状況に応じて活用できる。	①「いのちの教育」を全学年の最重点項目とし、全学年で3教材を配当している。更に、特設ページにおいて、「自己肯定感」、「アンガーマネジメント」、「メンタルトレーニング」を取り入れ、生命尊重やいじめ防止をバックアップする体験的な学習を示している。 ②あえて主題名を記載せず生徒の問題意識を大切にした構成にしている。また巻頭に学び方を提示したり今の自分について記述するページを設けたりして、学習意欲の喚起を図っている。 ③各教材末尾に1つの発問を用意し、「深めよう」では問題解決的な学習を設けている。 ④各資料に学習指導要領の4つの視点が色分けして提示されている。 ⑤体験的な学習ができる「深めよう」、考えを広げ深める「クローズアップ」を設け、多様な学習活動が行えるよう工夫している。 ⑥また、巻頭に「マイプロフィール」、巻末に「心の四季」を設け、生徒が自分自身の成長を振り返ることができるようにしている。
3 文章表現 ①学年段階に応じた文章であるか ②主体的な学習を進める表現の工夫があるか ② 字の大きさなどへの配慮があるか	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。常用漢字および固有名詞には全ての箇所には振り仮名を配している。 ②問題解決的な学習、体験的な学習のページに「学習の進め方」を配置して、全体の展開例を示している。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。ユニバーサルデザインフォントを使用している。	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。常用漢字および固有名詞には振り仮名を配している。 ②問題解決的な学習の道筋を、「考えを深める4つのポイント」として、巻頭に提示している。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。ユニバーサルデザインフォントを使用している。
4 挿絵・図表等 ①内容に応じた挿絵等が配置されているか ②印刷が鮮明か ③図版の大きさなどへの配慮があるか	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。教材タイトルの部分に、主な登場人物を整理して配置し、教材を読み取る際の抵抗を、できるだけ緩和するための配慮がある。 ②印刷は鮮明である。カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ③藤棚や屋久島の風景写真など、自然の偉大さを扱う教材を見開き2ページで示している。	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が多く掲載されている。 ②印刷は鮮明である。レイアウトの工夫で、余白が適度に確保されており、紙面にゆとりがあり、読みやすい。カラーユニバーサルデザインに対応している。 ③現役のスポーツ選手の写真が多く用いられている。
5 紙質・造本等	再生紙・植物油インキ使用。B5版 196 頁（1 年）。軽量の紙を使用し、持ち運ぶ生徒の負担を軽減している。各学年 1 冊、別冊（道徳ノート）あり。本冊と別冊が一体となるブックインブックで製本されている。	環境に配慮して作成された紙、植物油インキを使用。A4 版 180 頁（1 年）。無線綴じで、開きやすい。各学年 1 冊（別冊なし）。
6 教科独自の特色や長所 ①生命の尊重、人格の尊重等を題材とした教材 ②体験活動を通して日常生活を振り返り考える教材 ③今日的な課題に関わる教材 ④学級や学校生活の課題について考える教材 ⑤先人等の多様な生き方から生きる勇気や知恵などを感じる教材 ⑥生きることの魅力や意味の深さについて考えを深める教材	①命のつながり、病気と向き合って生きる教材がある。「防災教育」では、東日本大震災を乗り越えての郷土芸能の復活、阪神淡路大震災の中学生の活動、南海地震の際の濱口梧陵の姿を描いた教材がある。 ②人とのコミュニケーションを図る上で大切なことを役割演技で実体験する教材がある。全学年同数取り上げられている。 ③ネット利用で起きやすいトラブルを取り上げ、その中でマナーの大切さを学ぶ教材が多い。 ④同じ水泳に打ちこむライバル同士、職場体験での男女の様子を描いた内容から本当の友情について考える教材がある。 ⑤バイオリニスト、詩人、研究者、能楽師など、多岐にわたって人物を取り上げている。 ⑥マザーテレサ（ノーベル平和賞）、山中伸弥（研究者）の生き方を題材とした教材がある。	①人間の誕生に関わる教材と犬やヤギといった動物の命の大切さについて考える教材がある。「防災教育」では、東日本大震災の中学生に届いた一通の手紙、震災被災者の体験談、津波で母親を失った女子高生の成長を描いた教材がある。 ②道徳的行為に関する体験的な学習にあった教材を、「やってみよう」に位置付けている。 ③SNS、ネットの書き込みによるトラブルや歩きスマホによる事故を取り上げた内容から、携帯電話のマナーについて考えさせる教材がある。 ④異性の友達がお互いの良さを認め合い、高め合う教材がある。 ⑤政治家、スポーツ選手、研究者など、国内の歴史上の人物や現在活躍している人物を取り上げている。 ⑥イチロー・松井秀喜（野球選手）、上杉鷹山・伊能忠敬（江戸時代の先人）の生き方を題材とした教材がある。
7 大分市の子どもの実態 ①情報モラル ②いじめ問題 ③考え、議論する資料の充実	①1 年：著作権や肖像権等ネット利用で犯しがちなトラブルについて漫画で考える教材と情報社会の光と影を扱ったコラムがある。 2 年：ネット将棋の物語を通して、ネット上での責任ある言動について考える教材と言葉の種類と使い方についてネット上では誤解や思い違いに発展することがあることを示したコラムがある。 3 年：正しいスマホの使い方について考える教材とネットワーク社会の落とし穴を扱ったコラム、ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材がある。 ②1 年：魚の世界のいじめとの共通点とその背景から考えるコラム、メールへの誤解から起きたトラブルを題材とした教材、自分を振り返り心のようすをチェックするコラムがある。 2 年：スマホのグループメッセージのやり取りによるトラブルを2人の視点を題材にした教材と自分の考え方を振り返るコラム、いじめをなくす取組などを紹介したコラム、級友から避けられている幼なじみとの関わり方を振り返る教材がある。 3 年：いじめた級友の卒業文集を読み、後悔の念をもつ主人公を描いた教材と人を攻撃することを分析したコラムがある。 ③どの学年にも役割演技やグループでの話し合い活動がある。話し合う手順もある。	①1 年：SNS で「性格が悪い」といううわさになった B さんに対して、何もできず悩む主人公を描き、SNS にどんなメッセージを書き込むかを考える教材（いじめ問題と重なる内容）、ネット将棋の物語を通して、ネット上での責任ある言動について考える教材、歩きスマホによる事故事例などから、正しいスマホの使い方について考える教材とコラムがある。 2 年：ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材がある。 3 年：スマホ利用が絡むトラブルを漫画で考える教材、新聞に投稿された「歩きスマホ」を通してスマホの使い方やマナーについて考える教材とコラムがある。 ②1 年：教材（①と重なる） 2 年：外国からの転校生との出会いから、異なる文化を尊重し、悪意を感じるあだ名で呼ばれている同級生を尊重しようとする主人公の姿を描いた教材がある。 3 年：いじめた級友の卒業文集を読み、後悔の念をもつ主人公を描いた教材と魚の世界のいじめとの共通点を紹介したコラムがある。 ③どの学年にも役割演技や話し合い活動がある。
備考	1 年： 大分市教師用道徳指導資料集「あったほうがいい？」掲載	

平成31年度使用 大分市中学校用教科用図書 調査研究報告書

種目（「特別の教科 道徳」）		
発行者番号	2 3 2	2 3 3
発行者名	廣済堂あかつき	日本教科書
1 単元・題材の構成 ①単元や題材の構成が適切か ②単元・題材の取り上げ方が適切か ③学年の段階や生徒の能力等に応じた構成か ④各学年・教科の目標に応じた展開か ⑤生徒の考える道筋に合致した構成か ⑥学習事項の理解・定着への配慮があるか	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。35 教材で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。 ③発達の段階に応じた表現で、わかりやすい。学年が進むに従って、思索を深められるよう教材の選定や「学習の手がかり」の表記に工夫がある。 ④本冊と別冊「中学生の道徳ノート」を併用することで、道徳科の目標達成に資するよう構成されている。主体的・対話的な学習を通して、人間としての生き方について考えを深められるよう教材を選定している。 ⑤各学年の巻頭に「道徳の時間とは」があり、学習をイメージできる。「本時のめあて」が示されており、生徒は学習の見通しをもつことができる。 ⑥別冊は、内容項目ごとに道徳的諸価値が説明されており、柔軟に活用することができる。生徒は書くことによって、より深く自己を見つめることができる。また、「話し合い活動の記録」や「心に残っている授業の記録」、教材別・内容項目別に自己評価や振り返りができる「心のしおり」がある。	①学習指導要領及び生徒の実態・能力に応じた題材の構成になっている。37 教材で構成されている。 ②22 の内容項目すべてを扱っている。4 つの視点で構成されており、目次の各教材には番号が示され、学習指導要領の内容項目と対応している。各学校の実態に応じた年間計画が作成しやすい。 ③中学生の発達の段階を考慮し、生徒に身近な話題の教材を多く盛り込んでいる。特に、生徒と一緒に歳を重ねてきた登場人物が、各学年で直面する悩みを共有できるよう、ストーリーに連続性を持たせているものもある。 ④答えが一つではない道徳的な課題を短い資料で提示し、「考え、議論できる」よう工夫している。 ⑤巻頭に「道徳科って何を学ぶの?」があり、4 つの視点と学習の流れを示している。各教材末に、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」があり、生徒が考えを深める手助けとなる。 ⑥巻末に、1 年間の「心の成長」、「道徳の時間の振り返り」があり、内容項目ごとに4 つのレベルで自己評価ができる。客観的に自己の成長を確認し、次年度に向けての目標を立てることができる。
2 内容の取扱い ①題材のまとめ方・重点の置き方が適切か ②学習意欲の喚起等への配慮があるか ③導入やまとめ方は適切か ④基礎的事項の取扱いは適切か ⑤学習活動の充実が図られているか ⑥資料・手引き等の活用への配慮があるか	①「自主、自律、自由と責任」、「思いやり、感謝」、「生命の尊さ」、「よりよく生きる喜び」の4 項目を重点項目とし、全学年で3 教材ずつ配置している。 ②本冊の巻頭に詩や学び方を提示したり、別冊に内容項目ごとの解説や資料を提示したりして活用の幅を持たせることで、学習意欲の喚起を図っている。 ③別冊の解説や資料は授業計画に合わせていろいろな段階で柔軟に活用できるようになっている。また、別冊に、導入やまとめに利用できるような発問とメモ欄を設けている。 ④本冊に学習指導要領の4 つの視点が色分けされ、それにリンクする別冊のページが示されている。別冊には内容項目と主題が明示されている。 ⑤本冊で多様な感じ方や考え方に接し、考えを深めるための「考える・話し合う」を提供し、別冊では書くこと読み返すことを通して自らを振り返ることができるように工夫をしている。 ⑥別冊の巻末には、心に残った授業の記録、話し合い活動の記録や内容項目ごとの振り返りのページが設けられている。	①「友情、信頼」、「生命の尊さ」に重点を置いている。 ②巻頭で学ぶ目的と学び方を提示し、1 年間の見通しや毎時間の授業の見通しを持たせることで、学習意欲の喚起を図っている。 ③資料末尾の「考え、話し合ってみよう」に教材のねらいに迫る発問、「そして深めよう」にまとめとなる発問が提示され、学習の流れを示している。 ④各資料に学習指導要領の4 つの視点が色分けされている。 ⑤自分自身としっかり向き合うためのワークシートや「議論すること」を前提にした教材を配置している。また、文のない絵だけの教材や新聞記事などいろいろな形の教材を配置することで、多様な学習活動ができるよう工夫している。 ⑥「もっと知りたい」、「届けたい言葉」、「込められた思い」などの差込資料を多く配置し、生徒の実情に応じた弾力的な活用ができるようにしている。
3 文章表現 ①学年段階に応じた文章であるか ②主体的な学習を進める表現の工夫があるか ③文字の大きさなどへの配慮があるか	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。未習の漢字にはすべて、固有名詞は初出箇所には振り仮名を配している。 ②考え話し合うための「学習の手がかり」、「考えを広げ深める」を教材ごとに設けている。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。学年に合わせて字の大きさや行数を変えており、読みやすい。	①学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段にわかりやすく表記している。固有名詞や常用漢字などに振り仮名を配している。 ②教材の末尾に2 ～3 の発問を配し、考え話し合うための視点を与えている。 ③発達段階に応じた文字の大きさである。
4 挿絵・図表等 ①内容に応じた挿絵等が配置されているか ②印刷が鮮明か ③図版の大きさなどへの配慮があるか	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。 ②印刷は鮮明である。カラーユニバーサルデザインの観点から、色使いに配慮がある。 ③遺跡を覆い尽くそうとしているガジュマルの木の様子を、1 ページ全てを使った写真で示している。	①教材への興味や理解が深まる挿絵や写真が掲載されている。 ②印刷は鮮明である。 ③ホームと電車の間に挟まれた女性を、乗客が力を合わせて助けている写真が、1 ページで掲載されている。
5 紙質・造本等	再生紙・植物油インキ使用。AB 版 178 頁（1 年）。 各学年1 冊、別冊あり。別冊は、本冊と別冊が一体となるブックインブックで製本されている。 別冊は書き込みを考慮し、開きやすい中綴じである。	紙質については記述なし。B5 版 192 頁（1 年）。生徒が手に持ちやすく扱いやすい。 各学年1 冊（別冊なし）。
6 教科独自の特色や長所 ①生命の尊重、人格の尊重等を題材とした教材 ②体験活動を通して日常生活を振り返り考える教材 ③今日的な課題に関わる教材 ④学級や学校生活の課題について考える教材 ⑤先人等の多様な生き方から生きる勇気や知恵などを感じる教材 ⑥生きることの魅力や意味の深さについて考えを深める教材	①生命誕生や人間の死を通して、脳死、延命措置等についての題材が多く、生命の多面性について考える教材がある。「防災教育」では、阪神淡路大震災の遺体安置所に出動した警察官と少女の出会い、震災と原発事故を乗り越え、復興の願いを込めたもの、被災した中学生による津波対策活動を描いた教材がある。 ②教師が実情に応じ、様々な指導方法を取り入れることができる。 ③インターネットを利用するにあたってのマナーや公共の場でのマナーなど、社会の一員としてどうあるべきなのか考える教材がある。 ④仲間はずれ、ネット上でのいじめ、昔の自分を振り返る中での同級生へのいじめ行為を題材とした教材がある。 ⑤棋士、野球選手、大統領など、国内外多岐にわたって人物を取り上げている。 ⑥安藤百福（インスタントラーメン発明家）、三浦知良（プロサッカー選手）、マザーテレサ（ノーベル平和賞）の生き方を題材とした教材がある。	①正しい生活習慣が命をつなぐ基本を示す教材や自然災害から学ぶことを取り上げた教材が多い。「防災教育」では、防災力を身につけるために大切なことを話し合わせる「話してみよう」（コラム）、東日本大震災で被災した少年や多くの人からの支援に感謝する気持ちを綴った作文の教材がある。 ②教師が実情に応じ、様々な指導方法を取り入れることができる。 ③ネットやメールをやり取りする中でのトラブルから、コミュニケーションやマナーの大切さを学ぶ教材がある。 ④いつも一緒にいる友達を突き放した行為や、友達との約束を守らなかった行為をきっかけに友達との付き合い方を考える教材がある。 ⑤著名なスポーツ選手を多く取り上げている。 ⑥山中伸弥（ノーベル生理学・医学賞）や長嶋茂雄（昭和・国民栄誉賞）、松井秀喜（平成・国民栄誉賞）の生き方を題材とした教材がある。
7 大分市の子どもの実態 ①情報モラル ②いじめ問題 ③考え、議論する資料の充実	①1 年：ネット将棋の物語を通して、ネット上での責任ある言動について考える教材、ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材、情報機器によるコミュニケーションを考えるコラムがある。 2 年：料理が冷めるのにも気づかず SNS の反応を気にする女性の姿から、時と場に応じた行動のしかたについて考える教材、情報機器との接し方を考えるコラムがある。 3 年：軽い気持ちで送った画像により友だちを傷つけてしまったことから、インターネットを利用する際の責任について考える教材、ネット情報の特徴を扱ったコラムがある。 ②1 年：級友から避けられている幼なじみとの関わり方を振り返る教材といじめに対する意識調査を示したコラムがある。 2 年：ネットいじめの匿名性の問題点と書き込みをする人の想像力を問う、いじめ加害者に向けた手紙形式の教材がある。 3 年：いじめた級友の卒業文集を読み、後悔の念をもつ主人公を描いた教材がある。 ③「考える・話し合う」視点として、教材末に「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」が示されている。	①1 年：無料通信アプリに友だちの悪口に同調することを書き込み、友だちやグループ内でも仲たがいに発展した主人公を描いた教材がある。 2 年：ネット将棋の物語を通して、ネット上での責任ある言動について考える教材、ファンサイトへの書き込みから、匿名性によるトラブルやマナーを考える教材がある。 3 年：一通のメールがもとで友だちのことを疑う私と、そんな私を心配するその友達を描いた教材がある。 ②1 年：いつも頼ってくる友だちを突き放したことをきっかけに、友だちがクラスで一人になり、友人関係について考え直す主人公を描いた教材、プロレスごっこ称して、3 人のうちいつも技をかけられ嫌な思いをしている少年が発した言葉からいじめを考える教材がある。 2 年：なし。 3 年：いじめに加担した後悔を娘に打ち明け、謝罪のために3 0 年ぶりに友だちに連絡する母の姿を描いた教材がある。 ③教材末に、考え話し合う活動が示されている。
備考		